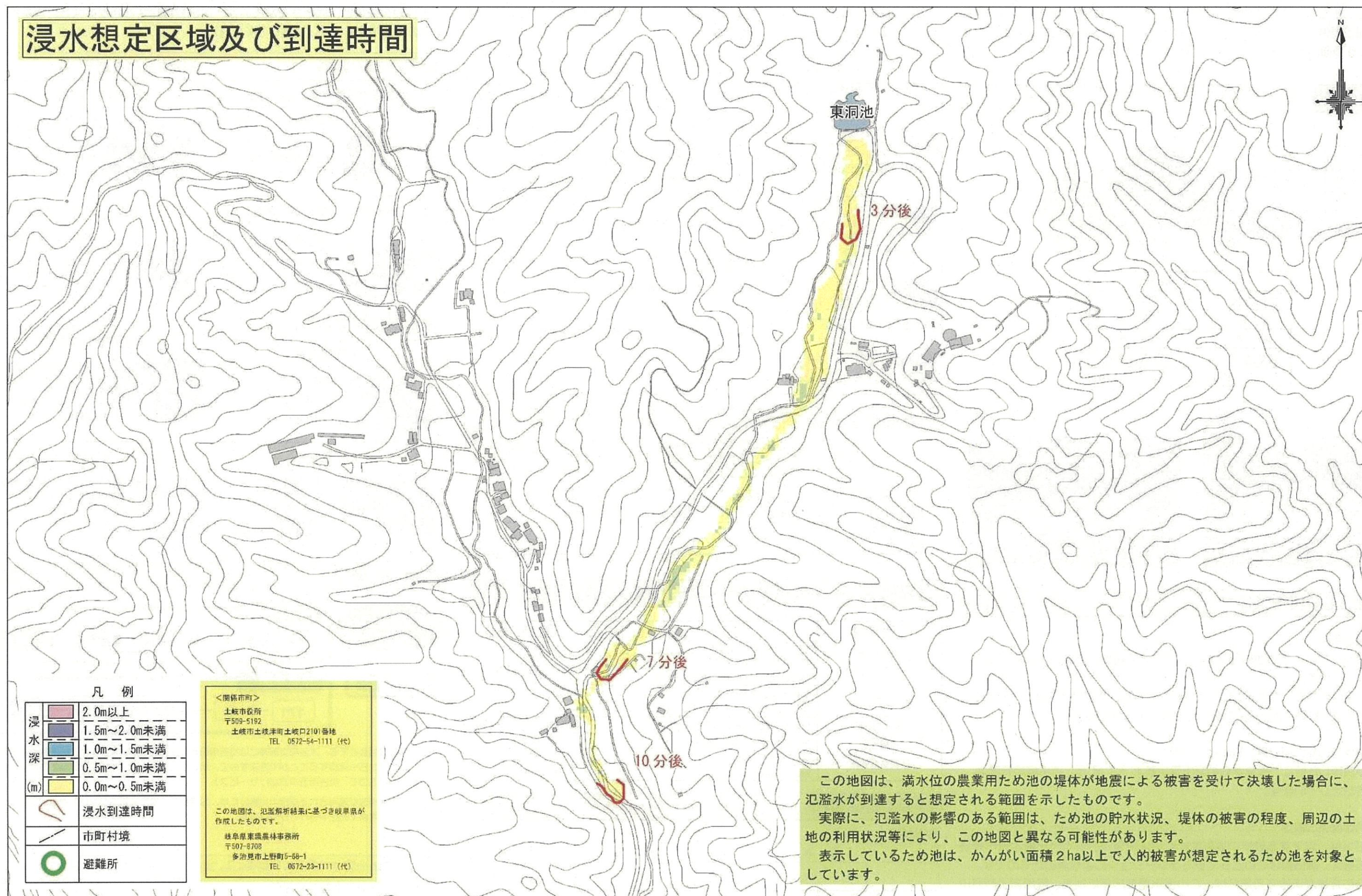


東洞池ハザードマップ

1:5,000

浸水想定区域及び到達時間



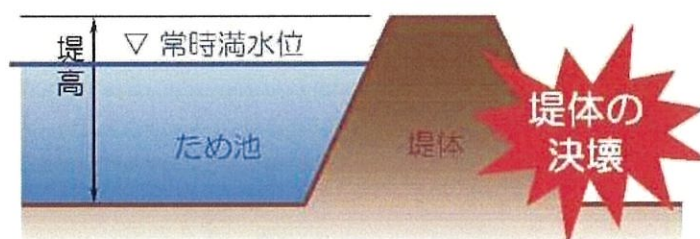
平成26年1月作成

ため池の役割

ため池は、土岐市内の農地をかんがいするために造られた貯水池です。

現在は、農業用水の利用のほか、防火用水としての利用や人命・住宅・農地・道路などを洪水から守るための洪水調整機能を備えています。また、美しい景観や親水空間を提供するとともに、水辺の生物多様性を支える重要な役割を果たすなど、豊かな多面的機能を有し、地域の大切な施設となっています。

ため池の規模



名 称	東洞池
総貯水量	2,000 m ³
堤 高	4.00 m
堤 長	40.0 m
集水面積	0.20 km ²
所 在 地	土岐市泉町河合賤ヶ洞1220



ため池氾濫解析の条件

(1) 堤体決壊条件

- ・本防災マップは、ため池の堤体が満水時に全て崩壊した場合の浸水状況を記載しています。
- ・浸水範囲の表記は、経過時間に伴う範囲を表記し、到達時間を示しています。
- ・堤体の決壊は瞬時に起こると仮定し、解析を行っています。

(2) 堤体決壊時の最大流出量と流出継続時間

- ・堤体が決壊した時に 堤体からの流出量は最大 43 m³/s、流出継続時間は、2分を想定しています。

(3) 浸水想定区域の仮定

- ・浸水区域は、流下する地域の地形条件に堤体決壊時の最大流出量と流出継続時間を与え、降雨量はゼロとしてシミュレーションにより求めたものです。
- ・降雨時に堤体が決壊する場合は、この浸水想定区域に加え、降雨および河川の水量が加わってきますので、浸水区域がさらに広がる可能性があります。

日常及び緊急時の点検

地震によりため池が決壊する被災形態、及びその被災メカニズムは下記のことが想定されています。

堤体の異常に気がいたら、防災関係機関などに緊急連絡するとともに、浸水想定区域の外に退避するようにしてください。

被災形態	被災のメカニズムと堤体の注意点
堤体にクラック（ひび割れ・亀裂）が発生した場合	・堤体頂部に左図のようなクラック（ひび割れ・亀裂）が発生する場合があります。 ・クラック（ひび割れ・亀裂）は水みちとなり堤体を破壊することがあります。 ・特に注意が必要な被災形態です。
堤体に沈下とクラック（ひび割れ・亀裂）が発生した場合	・堤体は、形状を保ちながら沈下する場合があります。 ・沈下する場合は、クラック（ひび割れ・亀裂）が発生する場合があります。 ・堤体がある地盤が軟らかい場合に発生しやすい被災形態です。
堤体に斜面崩壊が発生した場合	・堤体斜面の上部が沈下し、下部がはらみ出す変形が発生する場合があります。 ・堤体が弱くなり堤体が破壊することがあります。
堤体の斜面にすべりが発生した場合	・地震動により、堤体の法面がすべり破壊を起こすことがあります。

緊急時の連絡先

ため池の異常や漏れ部分、決壊などに気付かれた場合は、防災関係機関等に一報を入れてください。

連絡先	電話番号	住 所
土岐市役所	0572-54-1111	土岐市土岐津町土岐口2101番地
火事・救急	119	
警 察	110	

各種情報（インターネット・ホームページ他）

関連情報	ア ド レ ス	発 信 元
防災情報 気象・災害・防災	http://www.city.tokai.lg.jp/ 専用電話 0572-55-7713 「防災行政無線」電話で確認サービス	土岐市
防災防犯メール	土岐市情報提供サービス 携帯電話で登録 tcs@city.tokai.lg.jp	
防災・防犯	http://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/	岐阜県総合防災ポータル
交通情報	http://douro.pref.gifu.lg.jp/	岐阜県
防災気象情報	http://www.jma.go.jp/	気象庁
	http://www.jma-net.go.jp/gifu/	岐阜地方気象台

周辺の避難場所

指定避難所

名 称	住 所	電話番号

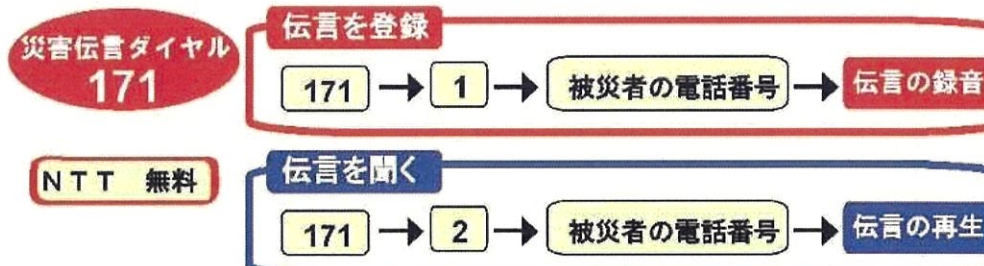
避難するときの注意事項

地震による堤体の決壊は、予測が難しいうえ、浸水の到達時間が速いので、事前の備えをし、自主的に浸水区域の外に避難できるようにしましょう。

ため池の決壊と、大雨が重なる時は、浸水被害想定範囲が拡大し、水深が深くなる恐れがありますので、注意してください。

日頃からの準備	避難時の注意事項
我が家の避難経路・避難場所 被害が想定される位置を確認し、いざという時の我が家の避難経路、避難場所、連絡方法を家族で決めておきましょう。	動きやすい服装で 丈夫な靴、動きやすい服装で、安全な経路を歩んで徒歩で避難しましょう。単独行動は避け、二人以上での避難を心がけましょう。
非常持ち出し品の事前準備 荷物は最小限の物にし、いつも取り出しやすい一定の場所に保管しましょう。保存期間等に注意し交換・補充するようにしましょう。	浸水は、浅くても危険 水深がヒザまで来ると、歩くことが困難になります。水深が浅くても、流れに勢いがある場合には、むやみに歩き回るのは避けましょう。
浸水想定区域外へ退避 火元確認を 避難する前に、電気のコネクター、ガスの元栓、ストーブのスイッチを切るなど火元を消しましょう。	車での避難は避けて 車での避難は、交通渋滞を招き、緊急車両通行の妨げになります。特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。
自主避難を 大きな揺れ（屋内では、棚にある食器類が落ちる。屋外では、電柱が揺れる等）があり危険を感じたら、自主的に避難しましょう。	万が一、逃げ遅れたときは 万が一、避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の2階以上へ逃げましょう。

避難した後で



- （1）携帯電話会社でも、大きな災害時には災害用伝言板を開設しています。伝言は他社の携帯電話やパソコンからも確認することができますので、あらかじめサービス内容を確認しておきましょう。（例）（ドコモ：災害用音声お届けサービス）
- （2）災害救助法が適用される規模の災害時には、公衆電話（緊急通報ボタン付）から、緊急ボタンを押して、無料で通話することができます。

この地図は、氾濫解析結果に基づき、岐阜県が作製したものです。

岐阜県東濃農林事務所

〒507-8708

多治見市上野町5-68-1 TEL 0572-23-1111（代）